

(13)

地域ニュース

7版



fresh  
friendly  
fukushima

総 合

### ふくしまキッズ林間学校

教育関係NPOなどをつくる「福島の子どもを守る」プログラム実行委員会(委員長・進士徹NPOあぶくまエヌエスネット理事長)は7月25日から8月28日まで、北海道大沼で放射能への不安から十分に屋外活動ができない本県の子どもを対象に「ふくしまキッズ夏季林間学校」を開校す

来月 北海道で開校

## 支援金を募る

る。現在、林間学校実施のための支援金を募集している。6日、進士委員長らが県庁で記者会見し、発表した。林間学校は、本県の小、中学生が対象。子どもへの希望により1週間から5週間受け入れ、山歩きや農業体験、星の観察などを体験させる。三春町の福聚寺住職で芥川賞作家の玄侑宗久さ

### 実行委「外で活動させたい」

んや、作家の田口ランディさんらも支援委員として協力しており、子どもたちの活動を予定している。参加費は交通費相当分の3万円、食費や宿泊費などの生活費や体験活動などは無料とするため、募金口座を開設、広く支援を呼び掛ける。第1次として6日から参加者200人を募集したが、すでに定員を満たす状況で、さらに定員を増やすためには、多くの人の協力が必要だという。会見には、進士委員長のほか、副委員長の吉田博彦NPO教育支援協会代表理事らが出席。進士委員長は「県内の子どもたちは毎日我慢して生活している。せめて夏休みくらいは放射能の心配がない北海道で伸び伸びと外での活動をさせてあげたい」と協力を呼び掛けた。募金口座など詳細は、<http://fukushima-kid.s.org>。